

「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

1 / 2

団 体 名	小樽フラワーマスター連絡協議会		
事 業 名	「街角に花を」・「大型プランター設置」両事業		
実施期間	平成30年5月15日～平成30年11月17日		
事業の目的及び期待する効果	会の目的にもとづき花や緑のあふれるまちづくりを進め、小樽の景観をもっと美しく、住民や観光客にとり潤いと温かみのある街並みを演出するため「街角に花を」「大型プランター設置」両事業を行う。 また国道5号線小樽駅前電柱地中化事業にともなう、駅前第1ビル前1ヶ所と長崎屋駐車場前にある既存の大型植樹柵2ヶ所と入船市場跡地に自動車会社が進出した入船商店街を【北海道開発局 VSP(ボランティア・サポート・プログラム)】環境整備支援事業3年間の2年目として花苗植栽支援事業を継続する。		
実施額	事業費	337,775円	助成額 300,000円
事業内容	<p>★「街角に花を」事業 ※ ★ 印は助成対象事業</p> <ul style="list-style-type: none"> JR小樽駅前中央花壇整備・植栽事業 総合博物館周辺マリーゴールド植栽事業 カトリック小樽教会富岡聖堂環境整備支援事業 国道5号小樽駅前、入船商店街（北海道開発局VSP事業）環境整備支援事業 花園銀座商店街環境整備支援事業（プランター・花苗提供） <p>★「プランター設置」事業（設置29ヶ所+交換用3ヶ所 合計45個）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的建造物・美術館・商店街ほかに大型プランター設置 ・<u>日本郵船前運河公園（噴水の周囲に2基新たに設置）</u> ・<u>小樽育成院（入口両脇に2基新たに設置）</u> ・手宮線プランター設置 ・運河プラザ " <u>（2入れ架台⇒1入れ架台に作り直し2基設置）</u> ・浅草橋街園 " ・堺町メルヘン交差点プランター設置（ルタオ本店ほかに継続設置） ・総合博物館周辺 " ・小樽美術館・文学館 " ・小樽運河ターミナル " ・カトリック小樽教会富岡聖堂 プランター設置 ・花園銀座商店街・都通商店街入口 " ・遠藤又兵衛邸（現立正校正会小樽教会）プランター設置 ・末日聖徒・イエスキリスト教会 " <p>ほかにオーセントホテル・水車プラザ等にプランター設置</p> <p>昨年作成したキャスト付き架台4基の豪華客船を歓迎する事業（第3号ふ頭・勝納ふ頭）は、効果的な設置場所の同意を得られず中止した。</p>		

○内容が分かる「資料やチラシ等」を添付してください

月 日	内 容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (概算実績)
5/19～11/17	J R小樽駅前中央花壇環境整備事業	20 人	1,000 人
5/27～11/17	国道5号線小樽駅前周辺環境整備・支援事業(VSP)	40 人	5,000 人
5/19～11/17	総合博物館周辺マリーゴールド植栽・支援事業	40 人	1,000 人
5/19～11/17	小樽カトリック教会富岡聖堂環境整備支援事業	50 人	500 人
5/27～11/17	観光拠点「大型プランター」設置事業	500 人	50,000 人
5/27～11/17	豪華客船入港時「大型プランター」設置事業	500 人	中止

◎事業評価について

1. 事業の目的の達成度

これまでの当会の活動や企業・団体・市民の取組により、観光施設や商店街に花が少ないということは解消に向かっていると思われる。小樽臨港線周辺や総合博物館周辺にある花壇の植栽や花壇のない観光施設や観光拠点・手宮線沿線内さらに歴史的建造物等の入口や説明板の前に「Welcome to Otaru!」と書いた大型プランターを設置することで「小樽の景観をもっと美しく、住民や観光客にとり潤いと温かみのある街並みを演出する」という目的は、今年度小樽を訪れた観光客が800万人を超えたことから達成されたと会員一同認識している。特にプランター事業は、観光客が歴史的建造物や運河を背景に記念撮影し、SNSを通じて世界中に発信されており「Welcome to Otaru!」看板は絶大な効果を発揮していると考えられる。

また電柱地中化事業で綺麗になった国道5号線小樽駅前第1ビル周辺大型植樹柵(駅前第1ビル・長崎屋・北海道ファミリー)は、各企業の協力を得て3年間の環境整備支援事業(2年目)を継続実施した。

2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度

小樽駅前花いっぱい推進協議会および入船商店街による【北海道開発局VSP事業】植樹柵植栽支援事業は、環境が劇的に変化した事もあり地元組織・市民には大変喜ばれたのではと思われる。

昨年・今年と花苗の伐採時期まで見事な状態で咲き誇り、特に昨年は伐採できないまま冬を越してしまったが、今年度長崎屋駐車場前では、花柄摘み・降雪後伐採と二度にわたり適宜管理に努めた。

3. 今後の事業について

花壇整備等は、本来まちづくりの一環として行政が担うべき事業と考えているが、観光を重視する小樽としては港湾地区や観光拠点さらには歴史的建造物に指定するわりには、花で飾って市民・観光客をお迎えすると言う視点は弱い気がする。当会や企業・団体・市民のプランター設置により点から線への整備は効果を挙げて来ている。管理の行き届かない既存花壇の行政による除草回数増(刈り込めば芝生)を期待するが、継続して土壌交換による地元の花壇整備組織の育成に取り組む。

4. 「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」に関する要望事項等